

## 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

**1 会議名** 多治見工業高等学校 学校運営協議会 (第3回)

**2 開催日時** 令和8年1月23日(金) 13時30分 ~ 15時30分

**3 開催場所** 多治見工業高等学校 会議室

<b>4 参加者</b>	会長 坂崎 雄介	多治見青年会議所理事長
	副会長 奥村 美紀	NPO法人 Mama's Café 理事
	委員 荻原 明広	明和工業株式会社総務部総務課長 (欠席・書面決議)
	小倉 徹	前年度育友会長
	藤井 真紀	育友会副会長 (欠席・書面決議)
	村松 敦子	多治見市養正交流センター館長
	森 翼	地域代表
	山本 和彦	同窓会役員理事 (欠席・書面決議)

学校側	曾貝 隆之	校長
	柴田 純孝	教頭
	相賀 栄寿	事務長
	加藤 龍輔	教務主任
	青木 崇	生徒指導主事
	加藤 嘉憲	進路指導主事
	和田 正行	工業部長

### 5 会議の概要（協議事項）

#### (1) 学校の状況説明について

①教務部 ②生徒指導部 ③進路指導部 ④工業部 ⑤学校自己評価

#### (2) 「電気工学科 課題研究発表会 参観」「本校の学校運営に対する提言等」について

意見1：課題研究「ジュークボックスの製作」の発表では、プレゼン、発表態度、作品の全てがすばらしく、取組み内容がとてもよく分かり非常によい。(複数)

意見2：協力して問題解決に取組み、最終的によい作品を完成させる課題研究の経験は、社会に出てからきっと役に立つ。よりよい授業として継続してほしい。(複数)

意見3：安全教育で作成した「安全マニュアル」は非常によい。工業高校で安全は一番大切な部分なのでしっかりと活用してほしい。

意見4：海外インターンシップの参加生徒が2人から4人に増えたことはよい。できるだけ多くの生徒に機会をあたえてほしい。

意見 5：所属のストレスチェックで「職場の対人関係上のストレスが少ない」傾向は、生徒の「学校生活が楽しい」につながる。教職員の学校業務は忙しいが、よりよい職場作りに努めてほしい。

意見 6：夏休みには多くの中学生が本校を見学に来て、11月の調査で本校を希望する中学生が定員を超えている。教職員の取組みが評価を得て、地域で大切な学校になっていくことがよい。

意見 7：遅刻・欠席で生活リズムが取り戻せない生徒は、どのような背景があるのか。

⇒ 家庭生活に起因する困難さが背景となる場合がある。同じ生徒が遅刻を繰り返している現状があり、所在不明の心配があるが、本校は遅刻・欠席の入力システムが構築されており、オンライン上で共有することで、安否確認につながっている。

意見 8：当法人主催のイベントは、子育て中の保護者に向けてPRする面があるが、10月には本校セラミック工学科1年生が参加し、来場者、企業、関係行政から高い評価を得た。生徒作品の陶器配布を通じて本校のよさも広く啓発できた。

意見 9：当センターが毎年夏休みに開催するイベントに、今年も本校各学科生徒が協力してくれた。現在小学生児童のみの参加であるが、保護者が参加してもよいか。

⇒ 保護者が引率の場合は教室の広さの関係があり、体験を希望される場合は材料費が必要となるが、相談があれば前向きに検討したい。

意見 10：出前授業等、地域へのPRは必要であり機会を増やすとよいが、どのような苦労があるか。

⇒ 10年ほど前に出前授業を小中学校にPRし始め、開始当時の実施はゼロだったが、ここ数年増えてきた。ただし児童の人数が多い学校では現在も開催が困難である。今年度初めて近隣の小学校が本校に来校して実施できたことで次年度は他校にも広げたい。来年度、多治見市内の小学生向けのものづくり教室に本校生徒の講師依頼があり参加を予定している。実施数を増やすと担当職員・生徒の負担も増えるが、続けられる方法を今後も検討ていきたい。

意見 11：令和8年4月から道路交通法が厳しくなるが、どのように対応しているか。

⇒ 自動車学校の交通安全講習会を実施し、自転車運転の注意・指導を行っている。多治見警察署からパンフレットが1月末に届くので、生徒に配布し補足の説明を行いたい。

意見 12：本校の就職希望者が今年度1割増えたのは、何か理由があるか。

⇒ 就職ガイダンスで、生徒が企業や就職の話を聞く機会を増やした。現3年生は1年生から計画的に実施し、生徒自身が企業のよさを知ったことが影響している。

## 6 会議のまとめ

第3回の本協議会では課題研究発表会を参観していただき、生徒の姿に高評価をいただいた。また、学校評価に関しても委員から様々な意見や質問をいただいた。安全・安心な居場所で「楽しい」と思えるような学校づくり、地域から期待される学校づくりに引き続き努めていきたい。委員の皆様からは、よりよい学校運営のための様々な提言をいただくことができ、本校生徒の更なる成長のために、年度末に向けての教育活動にも取組んでいきたい